

2025 年度業務実績報告書

提出日 2025 年 12 月 26 日

1. 職名・氏名 教授 ベロフ アンドレイ
2. 学位 学位 Doctor of Economic Sciences（経済学博士）、専門分野 経済、授与機関 ロシア連邦教育・科学省最高資格審査委員会、授与年 2010 年 11 月

3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習	
① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等	ロシア経済論（2 単位 毎年開講） 2 年生 （2003 年度以前～現在に至る）
② 内容・ねらい	ロシア経済の現状と課題、ロシアにおける市場経済改革、世界経済でのロシアの位置づけの理解を深める
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫	PPT 及び PREZI プレゼンテーション・ソフトウェアの利用、資料を GD へアップロード、中間テストの実施、映像教材・ビデオの利用、日ロ経済関係ニュースの紹介 2025 年 10 月 9 日、ゲストスピーカーとして新潟県立大学国際経済学部ゴルシコフ ビクトル教授を招待、特別講義・意見交換を実施、FPU プレスリリース等による情報発信。テーマは「21 世紀のロシアの国際分業と経済統合」。 【ゲストスピーカー 1 件】
① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等	移行経済論（2 単位 毎年開講） 3 年生 （2003 年度以前～現在に至る）
② 内容・ねらい	経済システムの国別モデル、比較の基準などを説明し、旧社会主義諸国における社会経済改革および社会経済現状について理解を深める
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫	PPT プレゼンテーションの利用、資料を GD へアップロード、中間テストの実施、映像教材・ビデオの利用、東欧・旧ソ連諸国経済関係ニュースの紹介 2025 年 7 月 7 日、ゲストスピーカーとしてアリエンタ株式会社のバイボスノフ社長を招待、公開講義・意見交換を実施、FPU プレスリリース等による情報発信。テーマは「キルギス共和国の社会経済状況と日本とのビジネス関係」。 【ゲストスピーカー 1 件】
① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等	経済学、一般教育のオムニバス（2 単位 1/15 担当、2024 年に開講） 1 年生 （2024 年度）
② 内容・ねらい	世界経済の動向、短期・中期・長期的なトレンドや予測に関する理解を深める
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫	PPT プレゼンテーションの利用、資料を GD へアップロード、映像教材・ビデオの利用、国際研究機関による世界経済予測の紹介

① 当科目名（単位数） 主たる配当年次等 研究演習Ⅱ（4単位 毎年開講） 4年生 （2003年度以前～現在に至る）
② 内容・ねらい 卒業論文及び卒業レポートのテーマを選択し、個別報告を中心に知識を広げていく。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 問題設定に関する指導、先行研究の分析の練習、中間レポートの実施 2025年7月7日、ゲストスピーカーとしてアリエンタ株式会社のバイボスノフ社長を招待、意見交換を実施。テーマは「キルギス共和国の社会経済状況と日本とのビジネス関係」。 2025年10月9日、ゲストスピーカーとして新潟県立大学国際経済学部ゴルシコフ教授を招待、意見交換を実施。テーマは「21世紀のロシアの国際分業と経済統合」。 2025年12月4日、4年生のゼミで5時限目にロシアの国立大学との4年生（日本の大学での短期留学中）と共に Zoom を通じて意見交換を実施。学生生活及び大学教育について日本語で会話。メリットは、国際交流スキルの強化・ロシアの日常生活に関する知識などである。 【ゲストスピーカー 2件】 【遠隔国際交流 1件】
① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 外書購読 ロシア語（2単位 毎年開講） 2年生 （2003年度以前～現在に至る）
② 内容・ねらい 現代ロシア社会の現状について理解を深める
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 新聞・経済関係誌・統計局などのダウンロードした資料の利用、分かりやすくロシアの社会情勢の紹介
① 当科目名（単位数） 主たる配当年次等 ロシア経済特論（2単位） 大学院前期修士課程1・2年生
② 内容・ねらい 世界経済でのロシアの役割、ロシア地域経済及び日ロ経済関係の現状、ロシアにおける市場経済改革の理解を深める
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 講義・意見交換を実施、資料をGDへアップロード、先行研究の分析の練習、期末レポート及び期末発表の実施 2025年10月7日、ゲストスピーカーとして新潟県立大学国際経済学部ゴルシコフ教授を招待、意見交換を実施。テーマは「21世紀のロシアの国際分業と経済統合」。 【ゲストスピーカー 1件】
(2)その他の教育活動
内容 2025年12月4日、4年生のゼミで5時限目にロシアの国立大学との4年生（日本の大学での短期留学中）と共に Zoom を通じて意見交換を実施。学生生活及び大学教育について日本語で会話。メリットは、国際交流スキルの強化・ロシアの日常生活に関する知識などである。

4. 研究業績

(1)研究業績の公表	
①著書	【 本】
②学術論文（査読あり）	
1. 「Historical Lessons from Japanese-Russian Trade」（単著）、『Pacific Affairs』（Quarterly magazine, UBC, Canada）、December 2025、Volume 98、No.4、B5 版、pp. 753-779. https://doi.org/10.5509/2025984-art3 https://pacificaffairs.ubc.ca/articles/historical-lessons-from-japanese-russian-trade/ Indexing: WoS, Scopus, JCR - Q1 (Social Sciences, Interdisciplinary), Impact Factor: 1.2 (2024); 5-Year Impact Factor: 1.2 (2024)	
	【1 本】
③その他論文（査読なし）	
	【 本】
④ 学会発表等	
「日露貿易の歴史的特色と危機克服」比較経済体制学会第 65 回全国大会会、2025 年 6 月 28 ～ 29 日、北星学園大学、単著、報告要旨・フルペーパー・報告スライド（1page/17pages/18slides）：比較経済体制学会の HP https://anears.net/ へ記載（2025 年 5 月 27 日）	
	【1 件】
⑤その他の公表実績	
	【 本】
(2)科研費等の競争的資金獲得実績	
【学外】	
【学内】	
(3)特許等取得	
(4)学会活動等	
学会での役職など 北東アジア学会理事、2015 年 4 月～現在至る	

5. 地域・社会貢献活動

①-1 委員就任（国）（それぞれの名称、業務内容、担当期間）
①-2 委員就任（県）（それぞれの名称、業務内容、担当期間）
①-3 委員就任（市町村）（それぞれの名称、業務内容、担当期間）
①-4 委員就任（その他公益法人等）（それぞれの名称、業務内容、担当期間）
② 国・地方公共団体等の調査受託等（それぞれの名称、業務内容、活動期間）
③（公益性の強い）NPO・NGO 法人への参加 太平洋人材交流センター（PREX 大阪、大阪市）旧ソ連諸国研修アドバイザー、2015 年 8 月～現在に至る
④（兼業規程で業務と見なされる範囲内での）企業等での活動（企業名、活動内容、活動期間）
⑤大学間あるいは大学と他の公共性の強い団体との共催事業等 JICA 北陸及び太平洋人材交流センター（PREX 大阪、大阪市）の中央アジア研修生向け地域活性化・産業クラスター研修での共同指導講師（オンライン・対面）、研修生の指導（アクションプラン作成など）。プレスタディ期間（2025 年 9 月 2 日～9 月 19 日）、日本滞在期間（2025 年 9 月 21 日～10 月 11 日、大阪・福井・金沢での滞在中、大阪・金沢のプログラムを共同担当）、アクションプラン実現期間（2025 年 10 月～2025 年 12 月、アクションプラン遠隔発表会は 2025 年 12 月 3 日に実施）で参加・報告・指導など。
⑥公開講座、オープンカレッジ、社会人・高校生向けの講座の開講（タイトル名、開催場所、開催日時） オープンカレッジ公開講座「日露貿易の歴史的な特色：150 年の変遷と構造的課題」・「日露貿易におけるカーニ輸入の現状と課題」、オンデマンド、2025 年 8 月 4 日・2025 年 8 月 7 日公開 学問発見講座「世界経済・アジア経済の展望」、福井県立金津高等学校、2025 年 12 月 15 日
⑦その他（名称、活動場所、活動期間） 自主企画「福井県関連研究論文の英訳・レポジトリ公開」、2025 年 4 月～現在に至る、論文 4 本について発表準備が完了（著者承諾、英文校閲、出版社および論文対象企業の許可取得済）

6. 大学運営への参画

(1)補職
(2)委員会・チーム活動
福井県立大学経済学部予算・研究委員会、2021 年 4 月～22 年 3 月、委員長 2022 年 4 月～現在に至る 福井県立大学 1 年生相談担当、2022 年 4 月～現在に至る 福井県立大学保健・学生相談センター運営会議委員、2023 年 4 月～現在に至る
(3)学内行事への参加
福井県立大学ソフトテニスサークルの顧問、2021 年 4 月～現在に至る 入試説明会講師、啓新高高等学校、2025 年 7 月 18 日
(4)その他、自発的活動など